



2015年度（平成28年3月期）  
第3四半期決算

# 参考資料

2016年2月2日

エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

## 【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

## 目次

1. 連結損益計算書	1
2. 資本的支出及び減価償却費の状況	2
3. セグメント情報	2
4. 報告セグメント別情報	3
5. 主力品売上収益	7
6. セグメント別売上収益予想	9
7. 連結包括利益計算書	10
8. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

### 為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2014年度 第3四半期累計	期中平均レート	106.87	140.30	175.57	17.29
	期末日レート	120.55	146.54	187.03	19.35
2014年度 通期	期中平均レート	109.92	138.77	176.79	17.73
	期末日レート	120.17	130.32	178.07	19.36
2015年度 第3四半期累計	期中平均レート	121.69	134.36	186.64	19.26
	期末日レート	120.61	131.77	178.78	18.36
2015年度	第4四半期予想レート	120.00	130.00	185.00	19.00

- 前回発表した通期の業績予想を修正しています。修正箇所には下線を付しています。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬）、アメリカス（北米、中南米）、中国、アジア（韓国、台湾、香港、インド、アセアン等）、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、薬粧—日本（一般用医薬品等）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。なお、本資料のセグメント情報に関する前年同期の数値は、上記報告セグメントに基づいて記載しています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

## 1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2014年度				2015年度				2015年度 通期予想	
	3Q累計	売上比	通期	売上比	3Q累計	売上比	前同比	増減額	今回修正	前回発表
売上収益	4,085	100.0	5,485	100.0	4,264	100.0	104.4	180	5,565	5,565
売上原価	1,431	35.0	1,936	35.3	1,493	35.0	104.3	62	1,985	1,960
売上総利益	2,654	65.0	3,549	64.7	2,772	65.0	104.4	118	3,580	3,605
販売費及び一般管理費	1,434	35.1	1,945	35.5	1,459	34.2	101.7	25	1,815	1,880
販売費	510	12.5	707	12.9	463	10.8	90.7	△47	—	—
人件費	582	14.2	784	14.3	637	14.9	109.5	55	—	—
管理費他	342	8.4	454	8.3	359	8.4	104.9	17	—	—
研究開発費	979	24.0	1,319	24.1	914	21.4	93.3	△65	1,255	1,265
その他の収益	7	0.2	10	0.2	102	2.4	1445.3	95	—	—
その他の費用	10	0.2	11	0.2	15	0.3	152.6	5	—	—
営業利益	238	5.8	283	5.2	486	11.4	204.2	248	510	460
金融収益	15	0.4	24	0.4	16	0.4	106.2	1	—	—
金融費用	37	0.9	49	0.9	27	0.6	74.6	△9	—	—
税引前四半期(当期)利益	217	5.3	259	4.7	475	11.1	219.4	258	490	428
法人所得税	△152	△3.7	△176	△3.2	91	2.1	—	243	—	—
四半期(当期)利益	368	9.0	435	7.9	384	9.0	103.9	14	370	270
四半期(当期)利益の帰属										
親会社所有者	367	9.0	433	7.9	383	9.0	104.1	15	—	—
非支配持分	2	0.0	2	0.0	1	0.0	69.0	△0	—	—

四半期(当期)包括利益	1,037	25.4	1,142	20.8	408	9.6	39.3	△629
-------------	-------	------	-------	------	-----	-----	------	------

EPS(円)	128.6	151.6	134.1	129.0	93.8
DPS(円)	—	150.0	—	150.0	150.0
ROE(%)	—	7.7	—	6.2	4.5
DOE(%)	—	7.6	—	7.2	7.2
海外売上収益比率(%)	42.3	43.9	45.0		

・通期予想の販売費及び一般管理費にはその他の収益・費用が含まれています。

・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

### <コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラヴェン、レンピマ、Fycompaの拡大</li> <li>中国・アジア・EMEA(欧州・中東・アフリカ・オセアニア)医薬品事業の成長</li> </ul>
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務・費用構造の改革による費用管理の徹底</li> <li>米国での構造改革費用の発生</li> </ul>
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>子会社株式・固定資産の譲渡に伴う売却益による増加</li> </ul>
■四半期利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年同期は、米国子会社の資本の払い戻しを実施したことにより、税金費用が減少</li> </ul>
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上収益：158億円、営業利益：△34億円</li> </ul>
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上収益：米ドル10.3億円、ユーロ2.4億円、英ポンド0.4億円、人民元26.4億円</li> <li>営業利益：米ドル△3.7億円、ユーロ1.7億円、英ポンド△0.9億円、人民元9.7億円</li> </ul>

## 2. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2014年度		2015年度			
	3Q累計	通期	3Q累計	増減額	通期予想 今回修正	前回発表
資本的支出額	110	426	143	33	225	185
有形固定資産	58	89	88	30	130	90
無形資産	52	336	55	3	95	95
減価償却費及び償却費	285	389	275	△ 11	350	350
有形固定資産	103	139	100	△ 3	135	135
無形資産	182	251	175	△ 7	215	215

・資本的支出額は発生ベースで示しています。

## 3. セグメント情報

### 1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2014年度		2015年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	2,133	2,784	2,110	98.9	98.9
アメリカス 医薬品事業	875	1,198	929	106.1	93.4
米国	869	1,190	919	105.8	92.9
中国 医薬品事業	300	410	382	127.2	114.2
アジア 医薬品事業	228	309	260	114.2	108.1
EMEA 医薬品事業	285	385	313	109.6	112.7
薬粧-日本 (一般用医薬品等)	132	170	141	106.9	106.9
その他事業	131	228	130	98.7	96.4
連結売上収益	4,085	5,485	4,264	104.4	100.5

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

### 2) セグメント利益

(億円、%)

	2014年度		2015年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	966	1,224	912	94.5	94.5
アメリカス 医薬品事業	110	149	179	162.9	138.5
中国 医薬品事業	83	106	111	133.8	116.3
アジア 医薬品事業	55	74	66	121.1	112.6
EMEA 医薬品事業	48	66	81	167.7	187.6
薬粧-日本 (一般用医薬品等)	5	13	28	608.2	608.2
その他事業	35	78	22	63.8	68.6
研究開発費	△979	△1,319	△914	93.3	86.3
親会社の本社管理費等	△84	△107	△80	95.0	95.0
子会社株式売却益	-	-	80	-	-
連結営業利益	238	283	486	204.2	218.6

・当連結会計年度より日本における一部の費用の管理体制を見直し、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しました。  
この変更に合わせて、前年同期の「日本医薬品事業」及び「薬粧-日本」のセグメント利益、「親会社の本社管理費等」の数値を修正再表示しています。

## 4. 報告セグメント別情報

### 1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	2,133	2,784	2,110	98.9
医療用医薬品	1,895	2,455	1,855	97.9
ジェネリック医薬品	194	269	211	108.7
診断薬	44	60	44	99.9
セグメント利益	966	1,224	912	94.5
<b>日本 医療用医薬品 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	370	469	335	90.5
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	228	299	251	110.1
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	288	371	248	86.0
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	160	215	188	117.1
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	172	224	165	95.7
経口抗凝固剤 ワーファリン	67	86	60	90.0
抗がん剤 ハラヴェン	45	61	53	116.4
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	52	67	51	98.9
不眠症治療薬 ルネスタ	34	45	46	135.1
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	37	47	31	82.8
抗がん剤 レンビマ	—	—	11	—

- ・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。
- ・当連結会計年度より日本における一部の費用の管理体制を見直し、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しました。この変更に合わせて、前年同期の「日本医薬品事業」及び「薬粧—日本」のセグメント利益、「親会社の本社管理費等」の数値を修正再表示しています。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	875	1,198	929	106.1 <93.4>
米国	869	1,190	919	105.8 <92.9>
セグメント利益	110	149	179	162.9 <138.5>
<b>アメリカス 主力品売上収益</b>				
制吐剤 Aloxi	362	498	418	115.3 <101.3>
米国	362	498	418	115.4 <101.3>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
抗がん剤 ハラヴェン	119	165	133	111.6 <99.4>
米国	116	160	127	109.7 <96.4>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
抗てんかん剤 Banzel	73	104	99	134.7 <118.5>
米国	72	103	98	134.9 <118.5>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	94	117	67	70.9 <62.3>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
抗がん剤 レンビマ	—	4	59	— —
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
肥満症治療剤 Belvia	39	54	36	90.9 <79.9>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	
抗てんかん剤 Fycompa	9	19	27	306.9 <271.7>
米国	8	17	26	325.6 <285.9>
	(百万米ドル)	(百万米ドル)	(百万米ドル)	

- ・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アメリカスでは、米国のみがアシフェックス、レンビマ、Belviaの自社販売国になります。

### 3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	300	410	382	127.2 <114.2>
セグメント利益	83	106	111	133.8 <116.3>
<b>中国 主力品売上収益</b>				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	130 (750)	173 (977)	151 (785)	116.7 <104.8>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	49 (283)	69 (389)	70 (366)	143.8 <129.1>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	34 (198)	47 (266)	41 (213)	119.8 <107.5>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	21 (121)	29 (162)	24 (125)	115.2 <103.4>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 4) アジア 医薬品事業 (韓国、台湾、香港、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	228	309	260	114.2 <108.1>
セグメント利益	55	74	66	121.1 <112.6>
<b>アジア 主力品売上収益</b>				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	68	94	77	113.0 <107.2>
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	60	81	68	113.8 <106.9>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	27	37	27	97.7 <93.1>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	20	26	25	126.0 <119.1>
抗がん剤 ハラヴェン	8	12	14	174.1 <163.2>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	285	385	313	109.6 <112.7>
セグメント利益	48	66	81	167.7 <187.6>
<b>EMEA 主力品売上収益</b>				
抗がん剤 ハラヴェン	84	116	100	118.6 <121.8>
抗てんかん剤 ゾネグラン	61	81	61	100.0 <103.0>
抗てんかん剤 Zebinix	24	32	28	115.7 <120.2>
抗てんかん剤 Fycompa	17	24	26	149.5 <152.5>
抗てんかん剤 イノベロン	16	21	17	104.1 <106.4>
抗がん剤 レンピマ	-	-	6	-

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

6) 薬粧-日本 (一般用医薬品等)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	132	170	141	106.9
セグメント利益	5	13	28	608.2
<b>薬粧-日本 主カブランド売上収益</b>				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	83	103	87	105.0

・当連結会計年度より日本における一部の費用の管理体制を見直し、販売費及び一般管理費の配分方法を変更しました。

この変更に合わせて、前年同期の「日本医薬品事業」及び「薬粧-日本」のセグメント利益、「親会社の本社管理費等」の数値を修正再表示しています。



## 5. 主力品売上収益

### 1) がん関連領域製品

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
がん関連領域製品計	726	986	887	122.1 <112.1>
ハラヴェン (抗がん剤)	258	353	301	116.7 <111.8>
日本	45	61	53	116.4
アメリカス	119	165	133	111.6 <99.4>
アジア	8	12	14	174.1 <163.2>
EMEA	84	116	100	118.6 <121.8>
レンピマ (抗がん剤)	—	4	77	—
日本	—	—	11	—
アメリカス	—	4	59	—
EMEA	—	—	6	—
Aloxi (制吐剤)	362	498	418	115.3 <101.3>
トレアキシソ/シンベンダ (抗がん剤)	28	37	32	114.9 <114.5>
その他	78	94	59	75.9 <73.0>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 2) てんかん領域製品

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
てんかん領域製品計	229	317	286	124.9 <119.3>
Fycompa (抗てんかん剤)	26	43	54	204.0 <194.0>
アメリカス	9	19	27	306.9 <271.7>
EMEA	17	24	26	149.5 <152.5>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	92	129	118	129.0 <116.5>
アメリカス	73	104	99	134.7 <118.5>
EMEA	16	21	17	104.1 <106.4>
ソネグラン (抗てんかん剤)	78	102	75	96.3 <96.8>
EMEA	61	81	61	100.0 <103.0>
Zebinix (抗てんかん剤)	24	32	28	115.7 <120.2>
その他	8	11	11	123.5 <123.5>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

### 3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
パリエット/アシフェックス計	435	560	370	84.9 <82.1>
日本	288	371	248	86.0
アメリカス	94	117	67	70.9 <62.3>
中国	21	29	24	115.2 <103.4>
アジア	27	37	27	97.7 <93.1>

- ・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファイナパック」の売上収益を含めています。

### 4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円、%)

	2014年度		2015年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
アリセプト計	494	657	516	104.4 <101.4>
日本	370	470	335	90.5
中国	34	47	41	119.8 <107.5>
アジア	68	94	77	113.0 <107.2>

- ・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

## 6. セグメント別売上収益予想（2015年度）

（億円）

	2014年度		2015年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	通期予想 今回修正	前回発表
<b>日本</b>	2,133	2,784	2,110	2,755	2,820
<b>医療用医薬品</b>	1,895	2,455	1,855	2,421	2,460
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	370	469	335	420	420
ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体 ヒュミラ	228	299	251	340	340
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	288	371	248	330	330
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	172	224	165	210	210
抗がん剤 ハラヴェン	45	61	53	85	100
不眠症治療薬 ルネスタ	34	45	46	75	85
経口抗凝固剤 ワーファリン	67	86	60	80	80
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	52	67	51	65	65
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	37	47	31	40	40
<b>ジェネリック医薬品</b>	194	269	211	290	300
<b>診断薬</b>	44	60	44	44	60
<b>アメリカス</b>	875	1,198	929	1,210	1,020
<b>米国</b>	869	1,190	919	1,200	1,000
<b>中国</b>	300	410	382	500	500
<b>アジア</b>	228	309	260	350	350
<b>EMEA</b>	285	385	313	420	450
<b>薬粧ー日本（一般用医薬品等）</b>	132	170	141	175	175
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	83	103	87	115	100
<b>その他</b>	131	228	130	155	250
<b>連結売上収益</b>	<b>4,085</b>	<b>5,485</b>	<b>4,264</b>	<b>5,565</b>	<b>5,565</b>
<b>主要品目グローバル売上収益</b>					
アリセプト	494	657	516	630	610
パリエット/アシフェックス	435	560	370	465	465
ハラヴェン	258	353	301	435	470
日本	45	61	53	85	100
アメリカス	119	165	133	190	195
アジア	8	12	14	20	18
EMEA	84	116	100	140	157
Fycompa	26	43	54	80	100
アメリカス	9	19	27	40	54
アジア	0	0	0	1	1
EMEA	17	24	26	39	45

## 7. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2014年度		2015年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	増減額
四半期(当期)利益	368	435	384	104.3	16
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△2	34	51	—	53
確定給付制度に係る再測定	—	50	—	—	—
小計	△2	83	51	—	53
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	667	619	△27	—	△694
キャッシュ・フロー・ヘッジ	3	5	△0	—	△4
小計	670	624	△28	—	△698
その他の包括利益合計	668	708	24	3.5	△645
四半期(当期)包括利益	1,037	1,142	408	39.3	△629
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	1,035	1,139	407	39.3	△628
非支配持分	2	3	1	48.0	△1

## 8. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2014年度	2015年度	
	3Q累計	3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	217	475	258
減価償却費及び償却費	285	275	△ 11
減損損失	0	2	2
運転資本の増減額（△は増加）	△ 22	45	66
利息及び配当金の受取額	14	16	2
利息の支払額	△ 33	△ 29	4
法人所得税の支払額	△ 92	△ 71	21
法人所得税の還付額	39	17	△ 22
その他	4	△ 115	△ 118
営業活動によるキャッシュ・フロー	412	615	203
投資活動によるキャッシュ・フロー			
① 有形固定資産の取得による支出	△ 95	△ 36	58
② 有形固定資産の売却による収入	22	132	110
③ 無形資産の取得による支出	△ 53	△ 316	△ 262
④ 子会社の取得による支出	—	△ 90	△ 90
⑤ 子会社の売却による収入	—	124	124
<資本的支出等（キャッシュベース）> ①+②+③+④+⑤	△ 126	△ 186	△ 60
金融資産の取得による支出	△ 65	△ 124	△ 59
金融資産の売却・償還による収入	74	128	54
3カ月超預金の預入による支出	△ 290	△ 166	124
3カ月超預金の払戻による収入	145	239	94
その他	1	△ 1	△ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 261	△ 110	152
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	210	208	△ 2
長期借入れによる収入	1,069	—	△ 1,069
長期借入金の返済による支出	△ 1,177	—	1,177
社債の償還による支出	—	△ 300	△ 300
配当金の支払額	△ 428	△ 429	△ 1
その他	△ 8	0	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 334	△ 521	△ 187
現金及び現金同等物に係る換算差額	237	△ 18	△ 255
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	53	△ 34	△ 86
現金及び現金同等物の期首残高	1,539	1,733	194
現金及び現金同等物の期末残高	1,592	1,700	108

フリー・キャッシュ・フロー	285	429	144
---------------	-----	-----	-----

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

### <コメント>

#### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税引前四半期利益の増加

#### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・販売権を含む無形資産の取得による支出発生、有形固定資産の売却による収入発生、子会社の取得による支出発生、子会社の売却による収入発生、社債返済原資として3カ月超預金の払戻による収入発生

#### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・社債償還による支出発生、前年同期は長期借入れによる収入・長期借入金の返済による支出発生

## 9. 連結財政状態計算書

## &lt;資産の部&gt;

(億円、%)

	2014年度		2015年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,330	12.6	1,093	10.7	82.2	△ 237
のれん	1,838	17.4	1,881	18.5	102.4	44
無形資産	1,276	12.1	1,120	11.0	87.8	△ 156
その他の金融資産	423	4.0	493	4.8	116.3	69
その他	34	0.3	70	0.7	207.5	36
繰延税金資産	890	8.4	879	8.6	98.8	△ 11
非流動資産合計	5,791	55.0	5,536	54.4	95.6	△ 255
流動資産						
棚卸資産	876	8.3	782	7.7	89.3	△ 94
営業債権及びその他の債権	1,743	16.5	1,711	16.8	98.1	△ 32
その他の金融資産	284	2.7	204	2.0	71.7	△ 80
その他	110	1.0	104	1.0	94.5	△ 6
現金及び現金同等物	1,733	16.4	1,697	16.7	97.9	△ 37
小計	4,747	45.0	4,498	44.2	94.8	△ 249
売却目的で保有する資産	—	—	149	1.5	—	149
流動資産合計	4,747	45.0	4,647	45.6	97.9	△ 101
資産合計	10,538	100.0	10,182	100.0	96.6	△ 356

## &lt;コメント&gt;

## ■資産の部

- ・米国の工場譲渡に伴い、有形固定資産が減少
- ・償却の進行による販売権の帳簿価額の減少に伴い、無形資産が減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2014年度		2015年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.3	450	4.4	100.0	—
資本剰余金	580	5.5	581	5.7	100.1	1
自己株式	△ 373	△ 3.5	△ 367	△ 3.6	98.4	6
利益剰余金	3,880	36.8	3,886	38.2	100.2	6
その他の資本の構成要素	1,451	13.8	1,423	14.0	98.1	△ 28
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,987	56.8	5,973	58.7	99.8	△ 15
非支配持分	33	0.3	33	0.3	101.0	0
資本合計	6,021	57.1	6,006	59.0	99.8	△ 14
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	2,058	19.5	2,060	20.2	100.1	2
その他の金融負債	24	0.2	24	0.2	104.1	1
退職後給付に係る負債	72	0.7	41	0.4	56.8	△ 31
引当金	12	0.1	13	0.1	107.7	1
その他	255	2.4	249	2.4	97.4	△ 7
繰延税金負債	5	0.0	4	0.0	79.9	△ 1
非流動負債合計	2,427	23.0	2,392	23.5	98.6	△ 35
流動負債						
社債及び借入金	302	2.9	210	2.1	69.5	△ 92
営業債務及びその他の債務	846	8.0	496	4.9	58.6	△ 350
その他の金融負債	46	0.4	74	0.7	160.7	28
未払法人所得税	39	0.4	77	0.8	197.3	38
引当金	111	1.1	118	1.2	106.4	7
その他	746	7.1	745	7.3	99.8	△ 2
小計	2,091	19.8	1,719	16.9	82.2	△ 371
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	—	65	0.6	—	65
流動負債合計	2,091	19.8	1,784	17.5	85.3	△ 306
負債合計	4,518	42.9	4,176	41.0	92.4	△ 342
資本及び負債合計	10,538	100.0	10,182	100.0	96.6	△ 356

<コメント>

- 資本の部
  - ・前期末からの為替換算差額の減少に伴い、その他の資本の構成要素が減少
- 負債の部
  - ・社債の償還に伴い、社債及び借入金（流動負債）が減少
  - ・販売権の対価の支払いに伴い、営業債務及びその他の債務が減少

## 10. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	1,328	1,362	1,394	1,400	1,392	1,363	1,509
売上原価	481	457	493	505	494	501	498
売上総利益	847	905	901	895	898	862	1,012
販売費及び一般管理費	472	475	487	511	499	465	495
販売費	168	186	156	197	160	155	148
人件費	193	184	204	203	228	203	206
管理費他	110	105	127	112	111	107	141
研究開発費	291	330	358	340	327	301	285
その他の収益	2	4	3	1	4	15	83
その他の費用	1	9	1	△0	0	6	8
営業利益	85	96	58	45	76	105	306
金融収益	6	3	6	9	7	3	6
金融費用	13	13	11	12	8	9	10
税引前四半期利益	77	86	53	42	74	99	302
法人所得税	20	38	△210	△24	19	43	29
四半期利益	57	48	263	66	55	56	273
四半期利益の帰属							
親会社所有者	57	47	263	66	54	56	273
非支配持分	1	0	1	0	1	0	△0
四半期包括利益	7	350	679	106	202	△99	305
EPS (円)	19.9	16.6	92.1	23.0	19.1	19.5	95.5

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

### 2) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
資本的支出額	38	33	40	315	13	20	110
有形固定資産	19	26	12	31	10	15	63
無形資産	19	6	27	284	3	5	47
減価償却費及び償却費	93	94	98	104	103	101	70
有形固定資産	34	34	35	35	35	33	32
無形資産	59	60	63	69	68	69	38

・資本的支出額は発生ベースで示しています。



### 3) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	79	292	40	349	211	227	177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△90	△131	73	△174	40	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287	△33	△14	△263	△425	△0	△96
現金及び現金同等物の期末残高	1,271	1,556	1,592	1,733	1,387	1,601	1,700
フリー・キャッシュ・フロー	47	243	△5	319	△103	336	196

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

### 4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2014年度				2015年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産	9,386	9,699	10,502	10,538	10,017	9,871	10,182
資本	5,074	5,426	5,907	6,021	5,997	5,900	6,006
親会社の所有者に帰属する持分	5,043	5,395	5,875	5,987	5,963	5,867	5,973
負債	4,312	4,273	4,595	4,518	4,020	3,971	4,176
社債	300	300	300	300	－	－	－
借入金	2,110	2,103	2,332	2,061	2,170	2,163	2,270
親会社所有者帰属持分比率（％）	53.7	55.6	55.9	56.8	59.5	59.4	58.7
負債比率（Net DER／倍）	0.18	0.11	0.11	0.06	0.11	0.06	0.06

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（社債及び借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等）÷親会社の所有者に帰属する持分

## 5) 主力品売上収益の四半期推移

### (1) がん関連領域製品

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>がん関連領域製品計</b>	242	226	258	260	280	293	314
<b>ハラヴェン (抗がん剤)</b>	82	83	93	95	101	98	102
日本	16	14	16	15	18	16	18
アメリカス	38	38	43	45	44	46	44
アジア	2	3	3	4	4	5	5
EMEA	26	28	31	31	34	32	34
<b>レンビマ (抗がん剤)</b>	—	—	—	4	13	28	36
日本	—	—	—	—	2	4	5
アメリカス	—	—	—	4	11	22	27
EMEA	—	—	—	—	0	2	4
<b>Aloxi (制吐剤)</b>	126	110	126	136	135	141	142
<b>トリアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)</b>	10	9	10	9	11	10	12
<b>その他</b>	25	24	29	16	21	16	22

### (2) てんかん領域製品

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>てんかん領域製品計</b>	71	75	83	88	84	96	105
<b>Fycompa (抗てんかん剤)</b>	7	8	11	16	15	18	22
アメリカス	2	3	4	10	7	9	11
EMEA	5	5	7	7	7	8	10
<b>イノベロン/Banzei (抗てんかん剤)</b>	29	28	35	37	34	40	45
アメリカス	22	22	28	31	27	33	38
EMEA	5	5	6	5	5	5	6
<b>ソネグラン (抗てんかん剤)</b>	26	27	25	23	24	26	25
EMEA	19	19	23	20	20	20	21
<b>Zebinix (抗てんかん剤)</b>	7	8	9	9	9	10	9
<b>その他</b>	3	3	3	3	3	3	4

### (3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>パリエット/アシフェックス計</b>	163	129	143	124	128	109	132
日本	108	84	97	83	84	73	91
アメリカス	39	28	27	23	25	17	24
中国	7	6	8	8	9	9	6
アジア	8	9	10	10	8	9	9

・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

### (4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円)

	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>アリセプト計</b>	164	155	175	163	180	160	176
日本	134	107	128	100	114	101	120
中国	11	11	12	13	14	14	14
アジア	21	23	24	25	26	25	26

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

## 11. 主要開発品

### <自社開発品一覧>

品目/開発コード	効能追加*	開発ステージ**	領域
<b>承認取得品</b>			
◎ レンビマ (甲状腺がん)		(欧ア) 承認	がん
◎ Fycompa (全般てんかん)	効能	(米欧ア) 承認	神経
○ ティーシー ビーズ(多血性腫瘍又は動静脈奇形に対する動脈塞栓療法)	効能	(日) 承認	がん
◎ ハラヴェン (脂肪肉腫)	効能	(米) 承認	がん
<b>申請中・申請準備中開発品</b>			
アリセプト (高度アルツハイマー型認知症)	効能	(中) 申請	神経
○ E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))		(日) 申請	神経
○ Fycompa (経口懸濁液)	剤形	(米欧) 申請	神経
○ Fycompa (部分てんかん・全般てんかん)		(日) 申請	神経
○ ハラヴェン (軟部肉腫)	効能	(日欧) 申請	がん
◎ Belvia (1日1回製剤)	剤形	(米) 申請	神経
◎ レンビマ (腎細胞がん)	効能	(米欧) 申請	がん
<b>臨床試験中開発品</b>			
ハラヴェン (乳がんサードライン)		(中) PⅢ	がん
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米欧ア) PⅢ	消化器・血液・免疫
E5501 (手術が予定されている慢性肝炎患者における血小板減少症)		(日米欧ア) PⅢ	消化器・血液・免疫
ハラヴェン (非小細胞肺癌がん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	がん
レンビマ (肝細胞がん)	効能	(日米欧中ア) PⅢ	がん
バリエット (PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法)	効能	(日) PⅢ	消化器・血液・免疫
MORAb-003 (プラチナ感受性卵巣がん)		(日米欧) PⅡ	がん
MORAb-003 (非小細胞肺癌がん)		(米欧) PⅡ	がん
MORAb-004 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん
MORAb-004 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん
MORAb-004 (軟部肉腫)		(米欧) PⅡ	がん
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧) PⅡ	がん
E7820 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん
◎ E7777 (末梢性 T 細胞リンパ腫、皮膚 T 細胞性リンパ腫)		(日) PⅡ	がん
◎ BAN2401 (アルツハイマー型認知症)		(日米欧) PⅡ	神経
E2006 (不眠症)		(米) PⅡ	神経
E2609 (アルツハイマー型認知症)		(米) PⅡ	神経
E5501 (C 型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症)		(米) PⅡ	消化器・血液・免疫
○ ハラヴェン (乳がん・抗 PD-1 抗体ベムプロリスマブとの併用療法)		(米) PⅠ/Ⅱ	がん
○ レンビマ (固形がん・抗 PD-1 抗体ベムプロリスマブとの併用療法)		(米) PⅠ/Ⅱ	がん
ハラヴェン (膀胱がん)	効能	(米欧) PⅠ/Ⅱ	がん
レンビマ (子宮内膜がん)	効能	(米欧) PⅡ	がん
レンビマ (メラノーマ)	効能	(米欧) PⅡ	がん
レンビマ (非小細胞肺癌がん、サードライン・単剤)	効能	(米欧) PⅡ	がん
レンビマ (非小細胞肺癌がん、RET 転座)	効能	(日米欧ア) PⅡ	がん
○ レンビマ (胆道がん)	効能	(日) PⅡ	がん
Fycompa (部分てんかん小児適応)	効能	(米欧) PⅡ	神経
アリセプト (ダウン症候群の退行様症状)	効能	(日) PⅡ	神経
バリエット (機能的ディスペプシア)	効能	(日) PⅡ	消化器・血液・免疫
E6011 (自己免疫疾患/炎症性疾患)		(日) PⅠ/Ⅱ	消化器・血液・免疫
E7090 (固形がん)		(日) PⅠ	がん
MORAb-066 (固形がん)		(米) PⅠ	がん
○ E7046 (固形がん)		(米) PⅠ	がん
Belvia (肥満症)		(日) PⅠ	神経
○ E2027 (アルツハイマー型認知症)		(米) PⅠ	神経
MORAb-022 (リウマチ)		(米) PⅠ	消化器・血液・免疫
E6007 (インテグリン活性化阻害)		(日) PⅠ	消化器・血液・免疫
○ レンビマ (腎細胞がん)	効能	(日) PⅠ	がん
ハラヴェン (リボソーム製剤)	剤形	(欧) PⅠ	がん
アリセプト (パッチ製剤)	剤形	(日) PⅠ	神経

\* 効能：効能効果追加、剤形：剤形追加

\*\* 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

- ・抗がん剤「ハラヴェン」について、米国でフェーズⅢ段階にありました HER2 陰性乳がんファースト/セカンドラインを適応とした開発は、実施主体が The Academic and Community Cancer Research United (ACCRU) に変更されたため、本表から削除しました。
- ・「E2307」について、フェーズⅠ段階にありましたアルツハイマー型認知症に係る適応の開発を中止しました。
- ・「BAN2401」について、グローバルフェーズⅡ試験に日本も加わりました。
- ・肥満症治療剤「Belvia」について、Arena 社との共同開発により米国でフェーズⅡ段階にありました禁煙補助に係る適応を対象とした開発を中止しました。
- ・選択的ホスホジエステラーゼ4阻害剤「E6005」について、Roivant Sciences Ltd.に導出したため、本表から削除しました。
- ・「Ontak(E7272)」について、メラノーマを対象とした適応の開発を中止しました。

○：2015年4月以降の進捗、◎：2015年10月以降の進捗

## (1) がん

開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** 製品名：**ハラヴェン**

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				自社品
〔概要〕 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。米国・欧州・日本・アジアなど、約60カ国で乳がんに係る承認（セカンドライン、サードライン等）を取得しています。2016年1月に、米国において進行性または再発の脂肪肉腫に係る適応追加の承認を取得しました。				
乳がんサードライン	304試験	中国 PⅢ	2015年度申請予定	注射剤
軟部肉腫（効能追加）	309試験	◎ 米国 承認（2016年1月・脂肪肉腫） ○ 日本 申請（2015年7月） ○ 欧州 申請（2015年7月）		注射剤
非小細胞肺がん（効能追加）	302試験	日米欧ア PⅢ		注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧 PⅠ/Ⅱ		注射剤
○ トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムプロリズマブとの併用）	218試験	米国 PⅠ/Ⅱ	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.との共同開発	注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）		欧州 PⅠ		注射剤

・米国でフェーズⅢ段階にありましたHER2陰性乳がんファースト／セカンドラインを適応とした開発は、実施主体がThe Academic and Community Cancer Research United（ACCRU）に変更されたため、本表から削除しました。

開発品コード：**E7080** 一般名：**レンバチニブ** 製品名：**レンビマ**

薬効／作用機序：抗がん剤／分子標的治療薬				自社品
〔概要〕血管内皮増殖因子受容体（VEGFR）や線維芽細胞増殖因子受容体（FGFR）に加え、血小板由来増殖因子受容体（PDGFR）、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ（RTK）に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。本剤は、VEGFR2とのX線共結晶構造解析から、新たな結合様式（タイプV）を有することが確認された薬剤であり、速度論的解析からは、標的分子に素早く結合し強力なキナーゼ阻害作用を示すことが確認されています。甲状腺がんに係る適応で、米国・日本・欧州、韓国など35カ国以上で承認を取得しています。				
甲状腺がん	303試験	○ 欧州 承認（2015年5月） ◎ アジア（韓国） 承認（2015年10月）		経口剤
腎細胞がん（効能追加）	205試験	◎ 米国 申請（2015年11月）受理（2016年1月） ◎ 欧州 申請（2016年1月） ○ 日本 P本		経口剤
肝細胞がん（効能追加）	304試験	日米欧中ア PⅢ	2016年度申請予定	経口剤
子宮内膜がん（効能追加）	204試験	米欧 PⅡ		経口剤
メラノーマ（効能追加）	702試験	米欧 PⅡ		経口剤
非小細胞肺がん（サードライン・単剤）（効能追加）	703試験	米欧 PⅡ		経口剤
非小細胞肺がん（RET転座）（効能追加）	209試験	日米欧ア PⅡ		経口剤
○ 胆道がん（効能追加）	215試験	日本 PⅡ		経口剤
○ 固形がん （抗PD-1抗体ペムプロリズマブとの併用）	111試験	米国 PⅠ/Ⅱ	Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.との共同開発	経口剤/ 注射剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツズマブ**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体				自社品
〔概要〕葉酸受容体α（FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
プラチナ感受性卵巣がん	011試験	日米欧 PⅡ		注射剤
非小細胞肺がん	009試験	米欧 PⅡ		注射剤

○：2015年4月以降の進捗、◎：2015年10月以降の進捗

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
メラノーマ	201試験	米欧 P II	注射剤
大腸がん	202試験	米欧 P II	注射剤
軟部肉腫	203試験	米欧 P II	注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
中皮腫	003/201試験	米欧 P II	注射剤

新たなフェーズII試験（201試験）を米欧で開始しました。

開発品コード：E7820

薬効／作用機序：抗がん剤／インテグリン $\alpha$ 2発現抑制剤			自社品
[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン $\alpha$ 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。			
大腸がん	702試験	米欧 P II	経口剤

開発品コード：E7777 一般名：denileukin diftitox

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤			自社品
[概要] インターロイキン 2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上の IL-2 受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国で CD25 (IL-2 受容体の構成要素) 陽性の皮膚 T 細胞性リンパ腫治療剤として承認を取得しています。E7777 は E7272 の製造工程を改良した denileukin diftitox 製剤です。			
◎ 末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験	日本 P II	注射剤

- ・米国でフェーズII段階（701試験）にありましたE7272のメラノーマ適応の開発を中止しました。
- ・日本で末梢性 T 細胞リンパ腫、皮膚 T 細胞性リンパ腫を対象とした E7777 によるフェーズII試験を新たに開始しました。

開発品コード：E7040 製品名：ディーシー ビーズ

薬効／作用機序：血管塞栓用ビーズ／医療機器			導入品 (Biocompatibles)
[概要] 架橋化ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて目標とする血管を選択的に塞栓するための血管塞栓用ビーズです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせた持続的な塞栓効果が期待できます。日本において、多血性腫瘍又は動静脈奇形を有する患者に対する血管塞栓療法を使用目的又は効果として承認を取得しています。			
○ 多血性腫瘍又は動静脈奇形に対する血管塞栓療法 (効能追加)	301試験	日本 承認 (2015年9月)	血管塞栓材

開発品コード：E7090

固形がん	日本 P I	自社品	経口剤
------	--------	-----	-----

開発品コード：MORAb-066

固形がん	米国 P I	導入品 (Janssen Biotech)	注射剤
------	--------	-----------------------	-----

○：2015年4月以降の進捗、◎：2015年10月以降の進捗

開発品コード：E7046

○ 固形がん	米国 P I	自社品	経口剤
--------	--------	-----	-----

## (2) 神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤			自社品
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。2014年9月には、日本においてレビー小体型認知症の効能・効果の追加承認を取得しました。			
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	339試験	中国 申請（2015年2月）	経口剤
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	345試験	日本 P II	経口剤
パッチ製剤（剤形追加、E2022）		日本 P I （帝國製薬との共同開発）	貼付剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤			自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して欧州、米国およびアジアなど、45カ国以上で承認を取得しています。また、全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、米国、欧州などで承認を取得しました。			
○ 部分てんかん	335試験	日本 申請（2015年7月）	経口剤
全般てんかん（効能追加）	332試験	○ 米国 承認（2015年6月） ○ 欧州 承認（2015年6月） ○ 日本 申請（2015年7月） ◎ アジア（フィリピン） 承認（2015年11月）	経口剤
○ 経口懸濁液（剤形追加）		米国 申請（2015年6月） 受理（同年9月） 欧州 申請（2015年6月）	経口剤
部分てんかん小児適応（効能追加）	232試験	米欧 P II	経口剤

・日本では、部分てんかんと全般てんかんの適応を同時に申請しました。

開発品コード：E0302 一般名：メコバラミン

薬効／作用機序：筋萎縮性側索硬化症			自社品
[概要] メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB <sub>12</sub> ）は、末梢性神経障害治療剤として広く使われている成分です。承認用量の50倍～100倍量となる高用量メコバラミンを用い、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤としての開発を行なっています。			
○ 筋萎縮性側索硬化症（ALS）	761/762試験	日本 申請（2015年5月）	注射剤

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体		導入品（バイオアーキティブ ニューロサイエンス）	
[概要] アミロイドベータ（Aβ）プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
◎ アルツハイマー型認知症	201試験	日米欧 P II	注射剤

・グローバルフェーズII試験に日本も加わりました。

○：2015年4月以降の進捗、◎：2015年10月以降の進捗

開発品コード：E2006 一般名：lemborexant

薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤			自社品
【概要】新規作用機序の睡眠導入剤です。覚醒状態を維持するオレキシン受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発を期待しています。			
不眠症	201試験	米国 PII	経口剤

開発品コード：E2609

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／βサイト切断酵素（BACE）阻害剤			自社品
【概要】BACE阻害剤です。アミロイド前駆体タンパク質のβサイト切断酵素であるBACEを阻害することで、ベータアミロイドの総量を低下させ、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。			
アルツハイマー型認知症	202試験	米国 PII	経口剤

開発品コード：APD356 一般名：lorcaserin 製品名：Belvia

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤			導入品 (Arena Pharmaceuticals)
【概要】新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、ボディ・マス・インデックス（BMI）が30kg/m <sup>2</sup> 以上、あるいは少なくとも1つ以上の合併症を患うBMIが27kg/m <sup>2</sup> 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局（FDA）より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。			
◎ 肥満症1日1回製剤（剤形追加）		米国 申請（2015年9月）受理（同年11月）	経口剤
肥満症		日本 PI	経口剤

・Arena社との共同開発により米国でフェーズII段階にありました禁煙補助に係る適応を対象とした開発を中止しました。

開発品コード：E2027

○ アルツハイマー型認知症	米国 PI	自社品	経口剤
---------------	-------	-----	-----

・「E2307」について、フェーズI段階にありましたアルツハイマー型認知症に係る適応の開発を中止しました。

### （3）消化器・血液・免疫

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット／アシフェックス

薬効／作用機序：プロトンポンプ阻害剤			自社品
【概要】プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用バック製剤などの承認を取得しています。2014年12月に低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および5mg錠の剤形追加の承認を取得しました。			
PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法 (効能追加)	311試験	日本 PIII	2016年度申請予定 経口剤
機能性ディスペプシア（効能追加）	204試験	日本 PII	経口剤

開発品コード：E5501／AKR-501 一般名：avatrombopag

薬効／作用機序：血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤			自社品
【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。			
手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症	310/311試験	日米欧ア PIII	経口剤
特発性血小板減少性紫斑病（ITP）	302試験	米欧ア PIII	経口剤
C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症	203試験	米国 PII	経口剤

○：2015年4月以降の進捗、◎：2015年10月以降の進捗

開発品コード：E6011

自己免疫疾患/炎症性疾患(抗フラクタルカイン抗体)	日本 P I / II	自社品	注射剤
---------------------------	-------------	-----	-----

開発品コード：MORAb-022

抗リウマチ剤 (抗体)	米国 P I	自社品	注射剤
-------------	--------	-----	-----

開発品コード：E6007

インテグリン活性化阻害	日本 P I	自社品	経口剤
-------------	--------	-----	-----

- 選択的ホスホジエステラーゼ4阻害剤「E6005」について、Roivant Sciences Ltd.に導出したため、本表から削除しました。